

平成 28 (2016) 年度 東北大学法科大学院入学試験  
試験科目：民事法 (商法)

以下の第 1 問から第 5 問のすべてに答えなさい。

第 1 問

株主提案権 (会社法 303 条・304 条・305 条) にどのような制約があるか、簡潔に (5 行程度) 説明しなさい。

第 2 問

株式会社の代表取締役が、会社を代表して銀行から借入を行ったが、この借入は代表取締役の個人的な借金を返済するためのものであり、銀行からの借入金も直ちに代表取締役の個人的な借金の返済に充てられていた場合、この借入 (金銭消費貸借契約) の効力について、簡潔に (5 行程度) 説明しなさい。

第 3 問

募集株式の発行に際し、株式引受人である代表取締役 X が個人として払込取扱機関 A 以外の金融機関 B から資金を借り入れ、これを払込取扱機関 A に払い込み、資本金額の増加の変更登記をした直後に、代表取締役 X が、払込取扱機関 A から資金を引き出し、引き出した資金を会社から当該代表取締役に貸し付けたこととして、直ちに金融機関 B への貸金返済に充てた場合、会社法上誰がどのような義務を負うか、簡潔に (5 行程度) 説明しなさい。

第 4 問

最終完全親会社等の株主による特定責任追及の訴え (会社法 847 条の 3) は、どのような目的で導入されたものであるのかについて、簡潔に (5 行程度) 説明しなさい。

第 5 問

平成 26 年会社法改正で導入された「特別支配株主による株式等売渡請求」 (会社法 179 条以下) は、どのような目的で導入されたものであるのかについて、簡潔に (5 行程度) 説明しなさい。